

積算システムにおける 護岸詳細設計の端数処理について

護岸詳細設計の端数処理は、積算システムでは以下のとおりの考え方で積算されています。

護岸詳細設計

$$S = A \times (K_1 \times K_2 \times K_3 \times K_4)$$

S ：補正後の歩掛

《少数第3位（少数第4位四捨五入）まで算出》

A ：標準歩掛

K_1 ：設計延長に対する補正係数

《少数第2位（少数第3位四捨五入）まで算出》

$$K_1 = 0.0025x + 0.5$$

x ：設計延長（ m ）

K_2 ：基礎地盤条件による補正係数

K_3 ：測点間隔による補正係数

K_4 ：市街地における補正係数

※ $(K_1 \times K_2 \times K_3 \times K_4)$ は、端数処理をしていません。